

(仮訳)

## WTO 改革に関するオタワ閣僚会合共同声明

我々、世界貿易機関（WTO）に関し同じ志を持つ WTO 加盟国・地域（注）の大臣及び首席代表は、ジム・カー・カナダ国際貿易多様化大臣の議長の下、10月24日から25日にかけて、オタワにて会合を行い、WTOの強化及び現代化の手法について議論した。

我々は、ルールに基づく多角的貿易体制への明確かつ強固な支持を再確認し、貿易を円滑化し、守るために、WTOの役割が欠かせないということを強調した。多角的貿易体制は、グローバルな繁栄、成長、雇用創出を世界にもたらす、未曾有の出発点となったが、貿易の恩恵は常に平等に分配されてきたわけではなかった。我々は、国際貿易における最近の動向、とりわけ、WTOに悪影響を与え、多角的貿易体制全体の脅威となる保護主義の顕在化に関し、深く懸念している。我々は、貿易における緊張の高まりは、国際貿易情勢の大幅な変化とつながっていることを認識している。また、交渉分野における成果を得ることの難しさについても認識している。我々は、前例のない課題に対処し、信頼を回復するため、迅速で一致した行動をとるという共通の決意を共有する。これに関し、我々は緊急に検討を要する3つの分野を特定した。

第一に、我々は、紛争解決制度がWTOの中核であることを強調する。有効な紛争解決制度は、WTO加盟国・地域の権利及び義務を保護し、ルールが執行可能であることを保証する。そのようなシステムは、交渉分野における加盟国・地域間の信頼を醸成するのに不可欠である。我々は、上級委員会における空席の継続が、WTOシステム全体の脅威となることを深く懸念している。そのため、我々は、上級委員の任命の阻止を解く喫緊の必要性を強調する。我々は、紛争解決制度の機能に関する懸念が示されていることを認識し、上級委員会及び紛争解決制度の主要な機能を保持しつつ、解決に向けて取り組む用意がある。この目的のため、我々は事務レベルで紛争解決制度を保護し、強化するアイデアを推進すべく、議論を続ける。

第二に、我々はWTOの交渉機能を再活性化しなければならない。我々は、第11回WTO閣僚会議（MC11）における指示に従い、2019年までに漁業補助金に関する交渉を完結させる必要がある。また、WTOのルールは、持続可能な開発目標（SDGs）といった21世紀の現実を反映させたものに更新しなければならない。現代の経済及び貿易の課題に対応するとともに、継続中で未了の課題に取り組むことが、WTOの重要性を保証する上での鍵である。これには、多角的な成果に向けた、柔軟かつオープンな交渉のアプローチが必要となる可能性がある。我々は、この点に関し、MC11の共同声明イニシアティブを通じ実施している取組を歓迎する。我々は、補助金及び他の手段により市場が歪曲されていることに対処する必要性を認識する。

開発は、我々の取組における不可欠な一部でありつづけなければならない。我々は、特別かつ差異ある待遇（S&D）を含む、開発的側面がどのようにルールメイキングにおける取組で最も良く追求され得るかにつき探索する必要がある。我々は事務レベルで、交渉機能を再活性化させるための具体的なオプションを検討・発展させていく。

第三に、我々は、WTO 加盟国・地域の貿易政策の監視及び透明性を強化すべきである。これは、WTO 加盟国・地域が他の加盟国・地域による政策行動を適切なタイミングで理解する上で、中心的な役割を果たしている。我々は、通報義務に関する WTO 加盟国・地域の履行状況を懸念しており、有効な透明性及び関連する協定の機能を確保するために改善が必要であることに同意する。この分野における具体的な改善は短期的に得られる。我々は事務レベルで、この分野での具体的なアイデアを推進すべく取り組む。

我々は、皆が恩恵を受けられるよう、WTO が完全に機能することを追求する。上記に記載した我々の目的は、継続的で意味のある政治レベルでの関与及び WTO 加盟国・地域間の対話を通じてのみ実現可能である。この点、我々は他の WTO 加盟国・地域又は他の WTO 加盟国・地域のグループによる継続中の取組、とりわけ、本グループの参加国・地域が最近発表した、紛争解決、透明性、通報における提案を評価する。我々はこれらの提案及び他の提案についても建設的かつ協力的に取り組む意思を確認する。

WTO の現状はもはや持続可能なものではない。変革に向けた我々の決意は行動を伴うものでなければならない。我々は保護主義と闘うとともに、WTO における透明性、紛争解決、21世紀のルール作りを喫緊の課題として前進させることに政治的にコミットする。我々は2019年1月に再会する際に、進捗状況について確認することを楽しみにしている。

（注） 豪州、ブラジル、カナダ、チリ、EU、日本、ケニア、韓国、メキシコ、NZ、ノルウェー、シンガポール、スイス